

# 感染症の 脅威に 立ち向かう

日時：平成29年3月4日（土）午後1時～午後3時（開場12:30）

場所：新潟市民プラザホール（NEXT21, 6階）

参加費無料・事前登録不要

## 講義 1

子どもたちを感染症から守るために

新潟大学教授 齋藤 昭彦

（大学院医歯学総合研究科 小児科学）

## 講義 2

国境を越えて広がる感染症

—新潟大学ミャンマー感染症研究拠点での活動—

新潟大学教授 齋藤 玲子

（大学院医歯学総合研究科 国際保健学）

## 講義 3

ウイルス感染が癌を発症させる

新潟大学教授 藤井 雅寛

（大学院医歯学総合研究科 ウイルス学）

感染症は「誰もが常に罹りうる疾患」です。そして開発された抗感染症薬が、現代の医療を支えています。しかし、すべての病原微生物を排除できるような抗感染症薬はありません。今なお感染症は、人類の健康にとって大きな脅威です。そこで、今回の学外講義では、感染症の脅威に立ち向かい、私たちが新潟大学医学部で行っている研究をご紹介します。

参加費無料・事前登録不要です。

## プログラム

13:00-13:05 **開会の挨拶** 医学部長 牛木辰男

13:05-13:15 **はじめに 「わたしたちを取り巻く感染症」**  
大学院医歯学総合研究科 呼吸器・感染症内科学教授 菊地利明

13:15-13:45 **講義1 「子どもたちを感染症から守るために」**  
大学院医歯学総合研究科 小児科学教授 齋藤昭彦  
子どもたちは、感染症にかかることが多く、また、かかると重くなったり、命にかかわることもあります。この講演では、子どもたちを感染症から守るために我々ができることを一緒に考えたいと思います。

### (休憩15分)

14:00-14:30 **講義2 「国境を越えて広がる感染症  
—新潟大学ミャンマー感染症研究拠点での活動—」**  
大学院医歯学総合研究科 国際保健学教授 齋藤玲子

新潟大学では、日本医療研究開発機構 (AMED) の国際感染症プロジェクトの一環として、平成27年度から5年間、ミャンマーで呼吸器感染症の研究を行うこととなりました。アウンサンスーチー政権に代わり、アジアで最もホットな国ミャンマーと、そこで新潟大学が行っている研究について紹介したいと思います。

14:30-14:55 **講義3 「ウイルス感染が癌を発症させる」**  
大学院医歯学総合研究科 ウイルス学教授 藤井雅寛

ヒトのがんの約15%にウイルス感染が関与しています。私たちは、ウイルスによるT細胞白血病の発症機構を研究しています。治療薬の開発を目標としたウイルス性白血病の発症機構の研究を紹介いたします。

14:55-15:00 **閉会の挨拶** 医学部副学部長 染矢俊幸